2011年1月1日（元日）掲載
下野新聞　特別紙面
「2011トップインタビュー」記事より

㈱丸和住宅

代表取締役
大森（おおもり）　克則（かつのり）氏

現場重視し親切丁寧に

スローガンは「実践と結果で親切企業No．1」だ。「一瞬のサービスを一生のものとして続けていきたい」と地元密着企業ならではの家づくりを目指す。

政府の進める「住宅エコポイント」は新年も継続されるが、家電・自動車に対する支援の削減による消費マインドの冷え込みを懸念する。「経済全体での底上げがないと住宅業界も難しいですね。その中でいかに『家が欲しい』という潜在的需要に真心込めて提案ができるかにかかっています」と目を輝かす。

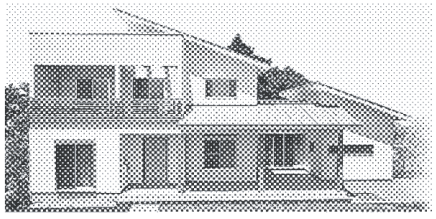
建築棟数はここ数年着実に伸びており、昨年は110棟を超えた。栃木市内の新築戸建て棟数では10％以上のシェアを確保するなど、認知度は確実に広がっている。その分、建て主からの丸和に対する「期待値」が高まっていることも確かだ。「今こそ丁寧な住まいづくりを心掛けねばなりません。数字に表れないお客様の満足度を1％でも高める努力が大きな信頼につながると信じています」

社員を増員したのも「親切な家づくり」のための足掛かりだ。特に現場監督を重点的に増員して「現場重視」にシフトし、人材育成にも努めている。「お客様とのコミュニケーションなくして、良い家づくりはできません」。営業、現場、協力業者、全てに対し「丸和イズム」の浸透と実践を図る。

3年後に「年間150棟」という目標を掲げているが「当面は地盤固めが必要」と慎重だ。同エリアの不動産業者との連携を今まで以上に密にし、共存共栄を図り地域の活性化にもつなげていく。将来的には「丸和住宅の家づくりの仕組みを確固なものにし、フランチャイズ展開もできたら」と展望する。

1月9日には、全社員38人が力を合わせて「新春食べ比べ！C級グルメ大会」を開催する。また、好評を博している「子供職人」企画など、地域の建て主OBや、これから家づくりを考えている人々の交流の場を数多く用意。「家づくりは、難しいけれど楽しいもの。丸和ならそれが実現できます」。今年も笑顔の絶えぬ「丸和」ならではの家づくりは健在だ。

「信頼」のナンバーワンブランドを目指して！



MARUWA
㈱丸和住宅
〒328-0075　栃木市箱森町37-49
☎0282・24・5777